

2015年 中国土木水利工程学会(CICHE)年次大会参加報告

中国土木水利工程学会 (CICHE) は、2015年11月20日～21日に、台北市の国立台湾大学で2015年度国際フォーラムおよび2015年度年次大会を開催した。

土木学会 (JSCE) は CICHE からの招請状に応じて金井氏、澁谷氏、および筆者 (上田) から成る代表団を派遣した。株式会社大林組の主任アドバイザーであり、元 JSCE 国際部門担当理事の金井氏は、”Anticipating Grand Future : Experience Sharing of Megaprojects” というテーマのフォーラムを構成する6人のメンバーの1人であった。

このフォーラムでは、台湾の国道高速公路の拡張および ETC システム、日本のトンネル掘削技術の現状、世界の様々な大規模空港の設計、仁川空港の歴史と先端技術、および台湾の複数の技術分野を統合した自然災害防止対策に関して発表があり、すべての参加者にとって極めて有益なものであった。

講演者は、台湾および韓国の公営企業、日本の総合建設請負業者 (ゼネコン)、香港の設計コンサルタント会社、および台湾の学会に所属する最高レベルの技術者であった。メガプロジェクトに関する講演に加えて、上海交通大学の Xila LIU 教授によって、東洋と西洋の間の溝を埋めることについての意欲的な講演が行われた。LIU 教授はこの講演の中で、「未来」(中国語でも日本語でも未来という同じ意味を持つ) の2つの漢字はどちらも土と木から構成されており、実際に「土木」は中国語でも日本語でも土木工学 (Civil engineering) を意味する言葉となっている。そして、土木工学自体が「未来」を意味している、と述べた。この解釈は大変興味深く感じられた。

年次大会は11月21日の朝、CICHE の会長である Liang-Jenq LEU 教授の開幕講演で始まった。JSCE を含む国外代表団はゲストとして壇上に迎えられた。国外代表団を代表して、筆者が短い挨拶を行った。オープニング・セッションの最後に、台湾行政院の副総理 San-Cheng CHANG 氏による基調講演が行われた。オープニング・セッションの後、特別功労賞、土木文化財の認定、新規フェロー、論文賞、学生奨学金賞、BIM 技術賞、および学生プロジェクト賞などの様々な表彰式が行われた。午後は、招待講演者による5つのセッションと、学生プロジェクト賞の受賞者による講演のセッションが実施された。

JSCE 派遣団のもう一つの目的は、CICHE-JSCE ミーティングを持つことであった。このミーティングは国際フォーラムの後、LEU 教授、CICHE 国際委員会委員長の Chiwan Wayne HSIEH 教授、Edward WANG 博士、および JSCE 派遣団の間で開催された。新しい共同施策の方向付けとして、2016年の JSCE の広瀬典昭会長の CICHE 訪問時に、台湾にて技術者と学生による第1回 CICHE-JSCE 土木技術ワークショップを開催することが決定された。

国際代表団メンバー全員が、11月20日の歓迎レセプションと11月21日の年次大会晚餐会に招待された。今回の訪問のみならず、筆者は毎回台湾を訪れるたび、台湾の友人に温かく歓迎されていると感じている。Yin-Wen CHAN 教授は、地震工学に関する国家研究センターを含む国立台湾大学のキャンパス見学にあたって、JSCE チームのツアー・ガイド役を買って出てくれた。我々は、今後も CICHE と JSCE 間の協力関係がさらに緊密かつ広範囲に広がることを期待している。

【記 土木学会国際センター長 上田多門 (北海道大学)】